

## 平成20年度組織目標の評価（琵琶湖環境部）

所属名：森林政策課・森林保全課  
実施日：平成21年3月18日

### 総合的な評価

「環境に配慮した森林づくりの推進」については、厳しい財政状況にある中で、間伐実施面積が、目標数値を概ね達成した。「県民協働による森林づくりの推進」については、森林づくり活動を実践する協定林数が、また「滋賀県型の木材生産流通システムの構築」についても、概ね目標数値を達成した。「次代の森林を支える人づくりの推進」については、森林環境学習「やまのこ」参加校が、目標数値以上を達成した。また、「造林公社の抜本改革」については、これまでの国・県の政策、公社の運営等についての検証委員会の設置・運営、議会の特別な関与に関する条例の制定など、造林公社の経営安定に資するための様々な支援や取組みを行ったが、特定調停の成立には至らず、今後とも早期解決に向けた協議を鋭意進める必要がある。総合的には、概ね目標どおりの実績をあげることができた。

(メッセージ)「森林を守り育て 琵琶湖と人々を支える」

### 組織目標の個別評価

組織目標	目標達成に向けての手段・方策	平成20年度目標値	達成状況(年度末見込)	評価	次年度対応方針
環境に配慮した森林づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>温暖化防止対策に資するため、森林吸収源対策としての間伐を推進する。</li> <li>うち、針広混交林へ移行する環境林の整備や農業用水・漁場保全で重要な区域における除間伐を行う陽光差し込む健康な森林づくり事業を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐実施面積 3,000ha</li> <li>〔うち 陽光差し込む 健康な森林づくり事業 750ha〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐実施面積 2,950ha</li> <li>〔うち 陽光差し込む 健康な森林づくり事業 687ha〕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>温暖化防止のための森林吸収源対策として間伐を中心とした森林整備を実施していく。</li> <li>引き続き次年度組織目標とする。</li> </ul>
県民協働による森林づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月の「びわ湖水源のもりづくり月間」を中心とした宣伝、広報や、森林づくり活動を通じて、森林づくりの必要性を訴えるとともに、活動のフィールドとなる里山整備や活動への支援を実施し、県民参加を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくり活動を実践する協定林数 11箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくり活動を実践する協定林数 9箇所(82%)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくりの必要性を訴えるとともに、協定が締結できるよう県民のみなさんや関係者の方に理解を求めていく。</li> <li>次年度は組織目標としない。</li> </ul>

組織目標	目標達成に向けての手段・方策	平成20年度目標値	達成状況(年度末見込)	評価	次年度対応方針
滋賀県型の木材生産流通システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施業区分、施業体系を設定し、伐採</li> <li>・ 更新のシミュレーションにより計画量を算定した上で、目標値を設定する。</li> <li>・ 県産材安定供給推進チームによる議論検討、学識経験者による指導助言を組み合わせながら策定作業を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林資源利用計画の策定（H20年度末まで）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集約化と低コスト施業が実施可能な森林を、森林簿データから抽出する条件をとりまとめ、シミュレーションを行った。3月末までに計画書(案)を策定し、庁内調整を進める。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林簿データに基づき森林の現況調査を実施し、集約化と低コスト施業が可能な具体的な森林の位置や資源量を把握する。</li> <li>・ 次年度は新規事業として組織目標とする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伐採・搬出体制、流通・加工体制、供給先、連携システム、環境への配慮について、関係者を巻き込みながら調査検討</li> <li>・ 学識経験者等の指導助言を受けながらモデル地域における生産流通システムを構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル地域における生産流通システム構築 2地区 (H20年度末まで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査結果に基づいて、県外の大規模工場への供給を柱とする県域モデルと、地域の特性を活かした2地域モデル(湖北、甲賀)(案)を策定した。今後、来年度の実施に向け庁内調整等を進める。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細調査を行い、モデルの実現に向けて関係者の合意形成を図るとともに、他地域でのモデル構築に向けた検討を行う。</li> <li>・ 次年度は新規事業として組織目標とする。</li> </ul>
次代の森林を支える人づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町、学校への説明や、特別支援学校へのケーススタディを通じて「やまのこ」への理解を進める。また、専任指導員や学校教員への研修や、学習プログラムの充実を図り、より効果のある内容にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林環境学習「やまのこ」参加校 200校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林環境学習「やまのこ」参加校 202校</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き関係各方面との連携を強めながら全小学校が参加するよう事業を推進していく。</li> <li>・ 引き続き次年度組織目標とする。</li> </ul>

組 織 目 標	目標達成に向けての手段・方策	平成20年度目標値	達成状況(年度末見込)	評価	次年度対応方針
造林公社の抜本改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定調停の成立に向けた個別の協議・調整</li> <li>・国に対する地方財政措置拡充等の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定調停を経て公社改革のための支援の道筋をつける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定調停について鋭意協議を進めている</li> <li>・これまでの国県の政策、公社の運営等について検証する検証委員会を設置、運営</li> <li>・議会の特別な関与に関する条例を制定見込み</li> <li>・公社からの弁済に係る弁済合意書の催告を適正に行うための委員会を設置</li> <li>・国・地方による「経営対策等に関する検討会」が設置され21年度の措置が明らかにされた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定調停の早期成立を図るとともに、公社に経営計画策定検討委員会を設置し、検証委員会の検証結果報告を踏まえ、平成22年12月までを目途に両公社の経営計画の策定を進めることとする。</li> <li>・引き続き次年度組織目標とする。</li> </ul>

(記入要領)

- ・メッセージ、組織目標、目標達成に向けての手段・方策および平成20年度目標値は年度当初の目標等を記入して下さい。(既出を転記)
- ・年度末での達成見込みについては、具体的に達成値、達成状況を記入するとともに、次により評価を行ってください。  
  - 目標以上の実績があった、概ね目標どおりの実績(80%) 目標値に達しなかった、×未実施
- ・次年度対応方針は、次年度の方針、次年度組織目標とするか否か、別の手段・方策を検討するかなどを記入して下さい。